

# 条件反射制御法 講義 5

体験書き出しと後の読み返しと20単語羅列  
重要図

# CRCT(条件反射制御法)の変遷

1. 物質使用障害に対して強い効果

当初のCRCT(制御刺激、疑似、想像)

物質使用は**後天的**な反射が本流

2. 万引きに適用を広げて、**失敗**

この疾病は**先天的**な反射が本流

3. 体験書き出しと後の読み返しと

20単語書き出しを加えた

CRCTは**過剰**な**本能行動**にも効果をもつ

# 反射連鎖の再現

先天的(無条件)反射連鎖が本流(本能)

防御: 危険や被災への反応、着火

摂食: 狩猟、採集、貯蓄、摂食

生殖: 視認、接近、接触、脱衣、性交

後天的(条件)反射連鎖が本流(適応)

物質摂取: 飲酒、喫煙、薬物摂取

業務達成: 業務の習熟

# 反射連鎖の過剰な作動

先天的(無条件)反射連鎖が本流(本能)

防御: PTSD、パニック、怒り、うつ、放火

摂食: 万引き、賭博、貯め込み、食べ吐き

生殖: 盗撮, 痴漢, 下着泥棒, 露出, 強姦

後天的(条件)反射連鎖が本流(適応)

物質摂取: 物質使用障害(酒、薬物)

業務達成: ヒューマンエラー

# 駆動性が生じ易い脳の成立1/2

1. 幼少期に過酷な生活（家庭、学校、戦争、疾病）を送り、ストレスを受け、生きる方向に第一信号系が反応して、生き抜いた。つまり、防御に成功し、生理的報酬を獲得することが反復した。

2. 日常の刺激に対して容易に駆動性が作動する形質が定着した。

3. 行動能力の高くなった青年期に、すでにもつ反射連鎖がさまざまな状況で作動し、逸脱する。

# 駆動性が生じ易い脳の成立2/2

1. 成人後ストレスがあり、生きる方向に第一信号系が反応して、生理的報酬を獲得した。
2. 特定の刺激に対して容易に駆動性が作動する反射が定着した。
3. 後に、特定の刺激に対して強く反応する。あるいは一時的に強く反応する。

# 第一信号系の駆動性が高まった病態

過酷な環境で幼少期、思春期を過ごした  
病的窃盗、摂食障害、性的逸脱、病的放火  
等に罹患した人

原因反射: 高い駆動性をもつ反射 と  
先天的反射が本流の反射連鎖

比較)健康に育ち、青年期から  
飲酒した中年のアルコール症

原因反射: 穏やかな駆動性と  
後天的反射が本流の反射連鎖

# 条件反射制御法の各ステージ

- 1) 制御刺激stage: 制御する刺激の設定  
良かったことの書き出し100話
- 2) 疑似stage: 疑似行為で促進反射惹起  
辛かったことの書き出し100話
- 3) 想像stage: 閉眼の想像で促進反射惹起  
体験の読み返しと物体20個の書き出し
- 4) 維持stage: 回数を減らして作業継続  
体験の読み返しと物体20個の書き出し



# 行動の駆動とその方向



# 本能行動の過作動を起こす脳

